

長野高校合唱班OB
カイトソサイエティ
第20回 **記念演奏会**

'86年8月10日(日) 2:00pm
長野国際会館

KITE(カイト)のこと

長野高校合唱班OBによって構成される。会員が全国各地に散らばること 100余名。長野高校の校章である、とんび (K I T E) をいただいた私達は、毎春こうして、ふるさと信州に舞いもどり、歌声を皆様におきかせしてまいりました。「歌うとんぴの仲間」を今後ともよろしくお願い申し上げます。

企画・主催 カイトソサイエティ



《プログラム》

1. 男声合唱組曲「月光とピエロ」

〈堀口大学 詩・清水 脩 曲〉

月光 指揮 宮下 荘治郎

秋のピエロ

ピエロ

ピエロの嘆き

月光とピエロとピエレットの唐草模様

2. 混声合唱組曲「筑後川」

〈丸山 豊 詩・團伊玖磨 曲〉

みなかみ 指揮 山岸 松夫

ダムにて ピアノ 青木 智子

銀の魚 合唱 長野高校合唱班

川の祭

河口

———— コーヒーブレイク ————

3. 愛唱曲集 —カイト20年の足跡—

4. 男声合唱組曲「雨」

〈多田武彦 曲〉 指揮 山本 昇

雨の来る前 伊藤 整 詩

武蔵野の雨 大木 惇夫 詩

雨の日の遊動円木 大木 惇夫 詩

11月にふる雨 堀口大学 詩

雨の日に見る 大木 惇夫 詩

雨 八木 重吉 詩

曲目紹介

■「月光とピエロ」

「男声合唱の経験者であればこの曲を知らない者はない」こう言っても過言ではないでしょう。昭和23～4に作曲されたこの組曲は、男声合唱の古典、また今日の日本の合唱曲の先駆けとなっています。だれもが共通に持っているピエロの一面、人間の哀感をせつせつと歌いあげたこの曲は私たちが世代を超えて歌い継いできた曲の一つでもあります。

■「筑後川」

九州、筑後平野を雄々と流れる筑後川を題材とした混声合唱組曲です。曲は、「みなかみ」から終曲「河口」まで、筑後川の流れ、周辺の自然の様相を表すとともに、その川の周辺に住む民衆の川とのつながりや、民衆のあたたかさ、その生活ぶりなどをおりませ、歌われています。たいへん変化に富み、雄大な曲であります。また、この曲は、九州の久留米音協合唱団の定期演奏会のために、久留米にゆかりの深い團伊玖磨氏によって作られたものです。

■愛唱曲集

カイトの各世代の仲間たちが現役時代、練習の中で、コンサートのストームで、そしていつでもどこでも口ずさんできた歌たちです。合唱から離れてしまったメンバーも多いのですが、現役時代のハーモニーが思い出せればと思っています。指揮を務めるのはこれまたなつかしい各世代の現役時代の指揮者達です。

■「雨」

春の雨は、土の香りを広げ、一雨ごとに木々に緑を与え、私達の心をはずませる。梅雨の雨は、暑い夏への序章。夏の雨は、さわやかな夕立ち。乾き切った私達に潤いを与え、しっとりさせしてくれる。秋の雨は、細く冷たく降り続き、私達を物思いな気分誘う。冬の雨は、やがて雪に変わり、私達の心を白く澄んだものにしてくれる。私達の生活に欠くことのできない雨。恵みの雨、破壊力あふれる雨、潤いの雨…そんな雨を、そして雨と人の心を歌います。

演奏者紹介

■長野高校合唱班紹介

私達合唱班は、今年度から、従来の合唱班、女声合唱班の合併した、新生「合唱班」として、新たな第一歩をふみ出したばかりです。

従来は、男声、女声の合唱が中心だったのですが、これからは混声合唱をメインとした形態で、活動したいと思っております。

本日は、さっそくそれを披露いたしますが、班員一同力一杯演奏したいと思っております。まだ技術的にも未熟な我々ですが、今後ともOBの皆様にあたたかい御指導のほどを、よろしくお願いいたします。

■山本昇先生プロフィール

20年の長きにわたり長野高校で教鞭をとっておられた山本先生が退職されてから早くも5年の月日が流れてしまいました。若いカイトのメンバーの中には現役時代、先生の棒で歌ったことのない者も出てきました。しかしカイトの多くの仲間たちは現役時代に定演のステージで先生と分かち合った感動を忘れることができずこうして集まってくるのです。

■山岸先生プロフィール

山岸先生が、長野高校に赴任されて今年で5年目になります。先生はたいへんお忙しいながらも、お暇を見つけては、吹奏楽、管弦楽をはじめ我々合唱班など、熱心に指導して下さいます。多くの生徒に慕われているのも、先生の明るく親しみやすい、おひとがらによるものと思います。先生は、「たにしの会」の会員としても幅広く活動されております。

……………では ごゆっくりどうぞ!!